



市民の声を施策に反映
第2回まちづくりネットモニター
を実施しました



ターゲット 16. 6

令和3年8月17日
(ネットモニターに関すること)
郡山市政策開発部広聴広報課
担当：島津 るみ子
TEL：924-2061

※ 調査内容については担当まで

SDGs ターゲット 16.6 「有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させる」

2021年度まちづくりネットモニター（第2回調査）の調査結果をお知らせします。

○調査概要（詳細は別紙のとおりです。）

・第2回(6月3日(木)～12日(土))

テーマ	日本遺産
目的	日本遺産認定から5年が経過し、市民の皆さまが感じていることや日本遺産の今後の活用について、意見を把握するため。
考察	安積開拓・安積疏水の認知度向上に、学校教育や生涯学習が大きく寄与している。また、認知度や関心度に比例して活動意欲が高まっている。
回答者数/率	340名(男性 154名 女性 186名) 94%
担当	文化スポーツ部国際政策課 岩浪 正人 TEL：924-3711



ウェブサイトに
アクセスできます。

https://www.city.koriyama.lg.jp/shiseijoho/koho_kocho/netmonitor/index.html

<まちづくりネットモニター>

郡山市では、市民の皆さまの意見等をお聞きする取り組みとして、様々な機会や方法等により実施しており、その一つとして、市民モニターの方々に御協力いただきインターネットを活用した市政アンケートを実施しています。

(モニター数：360名(男性 164名、女性 196名))

今回は、2021年度第2回目の調査となります。